

近年の豪雨を踏まえた「中小河川及びダムの治水対策」の推進

政策提言先 総務省・国土交通省

政策提言の要旨

- ・近年浸水被害が発生した中小河川は、治水事業費の減少により、対策を十分に進めることができず、頻発する豪雨等により、更に大きな被害を招く危険性をはらんでいる状況です。
- ・局部的な堤防の嵩上げや強化、河床掘削など、限定的でも効果が大きい対策を一定期間に集中的に実施するために、防災・減災に資する継続的な予算を確保するとともに、抜本的な治水対策を集中的に行う補助事業「大規模特定河川事業」への安定的な予算の配分が必要です。
- ・また、ボトルネック箇所の局部的な河川改修や、河川内の河床掘削、ダム貯水池の浚渫等の維持管理を県単独事業により計画的に行うため、有利な地方債制度の継続が必要です。

【政策提言の具体的内容】

- 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」後における防災・減災に資する継続的な予算の確保をお願いします。
 - ・河床掘削・樹木伐採、堤防の補強・かさ上げなど事前防災対策を加速化
- 補助事業「大規模特定河川事業」への安定的な予算配分をお願いします。
 - ・抜本的な治水対策を集中的に実施
- 有利な地方債制度の継続をお願いします。
(緊急自然災害防止対策事業費、緊急浚渫推進事業費)
 - ・ボトルネック箇所の局部的な河川改修、河川内の河床掘削や樹木伐採、ダム貯水池の浚渫等の維持管理を県単独事業により計画的に実施

【政策提言の理由】

- ・温暖化に伴い、全国各地において、豪雨災害が頻発・激甚化し、中小河川のインフラ整備の重要性が一段と高まっています。
- ・近年浸水被害が発生した中小河川は、治水事業費の減少により、対策を十分に進めることができず、頻発する豪雨等により、更に大きな被害を招く危険性をはらんでいる状況です。
- ・豪雨災害に備えるためには、人口や資産が集中した地域における河川を、計画に基づいて連続的に改修することに加え、近年浸水被害が発生した河川などのボトルネック区間を局部的に改修することが必要です。
- ・あわせて、河川の河床掘削や樹木伐採を適切に行い、流下能力を確保することや、ダム貯水池の浚渫を計画的に行うことが重要です。
- ・このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」後についても、防災・減災に資する継続的な予算を確保するとともに、抜本的な治水対策を集中的に行うための補助事業「大規模特定河川事業」への安定的な予算の配分と、ボトルネック箇所の局部的な河川改修や、河川内の河床掘削、ダム貯水池の浚渫等の維持管理を県単独事業により計画的に行うための有利な地方債制度の継続が必要です。

【高知県担当課】 土木部 河川課